

サロンあべの

〈サロン・あべの〉8月の出会い

平成20年8月3日(日)、〈サロン・あべの〉8月の出会いは恒例の「あべのカーニバル」で「さろん亭」の開店です。

今年で第35回となる

「あべのカーニバル」ですが、「さろん亭」が開店するのは23回目。過去雨らしい雨にあつたことはほとんどありません。とはいえ、気になるのはやはり当日の天気です。連日続く猛暑でしたが、幸い今年も晴れた良い天気になりました。午後1時ごろから、「さろん亭」の開店準備のため、車数台に荷物を分載して「あべのカーニバル」の会場である市立工芸高校のグラウンドへ。

さろん亭



グラウンド内の「なんでも市」のテント内で「さろん亭」の開店準備が始まりました。テントの中では皆さんから提供していただいた品物がところ狭しと並べられていきます。この間も気の早いお客さんは掘り出し物は、

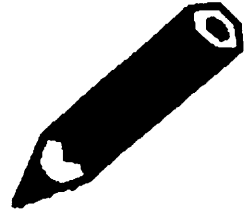
の早いお客さんは掘り出し物は、品物の中でも石鹸やタオルなどは、大人気でまとめ買いをされる方もおられます。売れるごとに奥の品物が店頭に補充されていきます。グラウンド中央では、地元の阿倍野区内の中学、高校の吹奏学部の演奏や催しなどでカーニバルを盛り上げます。お客さんの中には、久しぶりの方もおられ、応援の声をかけてくださいます。店内では、声を掛けタオルで汗を拭きながら、立ち寄られる大勢のお客さんとの対応が続きます。

「さろん亭」の開店準備 買い物得な物は、と品定めに余念がありません。そして午後3時、いよいよ「さろん亭」が開店しました。

グラウンド内の「なんでも市」 「さろん亭」の店頭では、お客さんごとの品物を選び、値引き交渉などのやりとりが交わさ

毎年このことなのですが、品物を寄贈していただいた方、前日の値札付けや品物の搬入や当日の販売のお手伝いなど本当に多くの皆さんにご協力をしていただき開店することができました。お世話になりありがとうございます。今年も多くの皆さんに支えられて「さろん亭」は無事に閉店しました。(山村貴司)

48



邦子、 ・ん歳の手習い。

障害者自立生活ーりえんさんの場合①ー

私の夫は、バークレー留学から帰国後も、バークレーの自立生活運動に魅せられ、その後何回かバークレーを訪問し、何人かの自立生活者にインタビューしました。今回は、1989年に夫がお話を伺った、りえんさんのバークレー市での自立生活についてご紹介します。

りえんさんは日系アメリカ人で、両親とアメリカのサンフランシスコに住んでいました。高校を卒業して、サンフランシスコのシテイカレッジに通いながら、バークレー大学入学のための受験勉強をしていました。その

在学中の2年目(1987年5月)に交通事故に遭遇し、頸椎C3とC4を損傷し四肢麻痺の障害者になりました。その後、1年間リハビリをして、フォークを使って食べることに、短い文章を書くこと、短い文を書くこと、長い文章をゆつくりとタイプすることなどが可能になりました。

1988年9月にバークレー大学に入学しました。大学へは、テストはなく、2年間のカレッジでの成績とエッセイで判定され、入学することができました。入学後、学生寮に入り、障害者学生プログラムのレジデンスサービスの指導により、自分で介護者を雇い、自立生活を始めました。両親は、娘の自立生活について、まだ早すぎるんじゃないかと心配し、最初は親元にいた方がいいんじゃないかと思っていました。しかし、りえんさんが重

度の障害者になったにもかかわらず、わずか1年で大学に行き、自立生活を始められたのは、大学に学生のためのレジデンスプログラムという障害者援助システムがあったという環境に恵まれていたということもあり、彼女の事故後彼女を支えてくれた回りの

援助もその要因の1つでした。

彼女はもともと両親のいうことを聞き、いつもニコニコしているような人でした。障害者になっても、回りの看護婦さんや医者さんに迷惑をかけないように我慢して、自分が悲しくっても、痛くても言わないで、ニコニコしていました。入院後3週間くらい

して、男の看護士さんにそれでは続かないと思うから、自分がしたいと思うことややってほしいと相手に思うことは、きっちり明確に相手に伝えないと、誰も手助けをしてくれないよと言われた時に、初めてああそうなのかと思い、自分がやりたいとかやってもらいたいことは、はっきりと言わなければいけないのかなと思ったということです。

リハビリテーション病院の時も、誰かに手助けを頼む練習をするという訓練がありました。またリハビリのスタッフが彼女をいろんなところやバークレーに連れて行って、あれもできるんだ、これもできるんだということを教えてくれて、勇気づけてくれました。バークレーの街には、障害者がたくさんいて、お店にも普通に歩いて行けることや、回りの人も障害者に自然に接してくれる

ことを体験することによって、彼女も彼女の両親も安心したということでした。しかし、彼女はパークレーにきてからも、人にものを頼めるようになるまでは、大変で、かなりの時間がかかりました。しかし、言ってみないところは始まらないと言われ、やってみました。すると、お願いしますとありがとうございました。ええ、後はスムーズにいきます。りえんさんは、障害者を受け入れるパークレーの街という恵まれた環境の中で、回りの人たちの援助によって、自立生活を始めることができました。(定藤邦子)

ありがとうございます。

カンパ、ペットボトル茶・お茶菓子・おにぎり、バザー用品のご寄贈、また、サロングッズのお買い上げなど、ありがとうございます。
 カスタネット(高橋・藤木・松村)、阿倍野区肢体障害者部会・カークラブ(井上・山梨)、加賀谷正・理沙、桑田加代子、小西京子、目和子、下村実幸・直登、関幸子、高尾澄男、竹下秀樹・洋子、竹野良枝、田辺徳孝、千代松真佐子、辻本輝子、富田慶子・十一、久木浩、山村貴司・久子、芳邨かほる、その他の方々。(敬称略)

晴れのち晴れ-120-

稲垣恵雄

□メルテルホーム

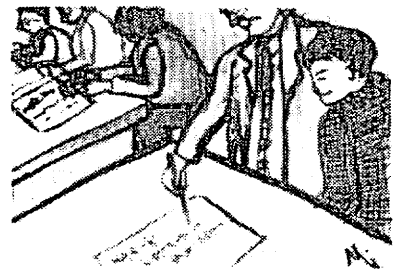
メルテルホームのショートステイを利用してようになってまもなく1年になる。毎月1回(2泊3日)は利用しているが、その時は必ず車で送り迎えしてくれ、我が家から15分ぐらいの所なのありがたい。

メルテルホームは入所者が50人ほどおり、多くの職員が交代でお世話をしている。どの職員もやさしくて親切なので見ている気持ちがいい。そして当ホームの建物自体は鉄筋だが、内部は木造りの純和風である。それだけに玄関に入るとほんのりと木の香りが漂い、まるで母の懐に抱かれているような温もりを感じるのである。そう言えばメルテルホームとは「母なる大地の家」という意味だから、正に名は体を表している。

メルテルホームでは毎週火曜日と金曜日の2度にわたってM先生が入所者に色紙でいろんなものを折ったり、絵の描き方などを指導しておられる。私も当ホームへ行くたびにその月の行事や季節のことを原稿用紙1枚に書くことにしている。そうするとM先生が作品の内容に応じて折り紙や絵を添えて掲示板に張ってくださるのである。

それに年に4回、俳句を募集しているので1度だけ春の句を応募したことがある。すると思いがけず「春めくやお座りの子も歩き出す」という句が入选した。

このように私にとって大変いい勉強になり、さまざまな意味でメルテルホームへ行くのが楽しみである。



誰かわからなくても



「このあいだ、いつしよに歩いた女の人なあ。あれは、誰やったんやろなあ？」と父が聞く。誰のことを言っているのか、およそ見当はついたので、私は「このあいだって、いつのこと？」と、問い直す。すると父はそ

れには答えず「なんか、えらい親しそうに話しとつたなあ」と言う。

「あれは・・・」と続けて、私は妹の名前を言う。「え？」と、父は一瞬、驚いた顔をして見せる。そして、しばらく沈黙したあと「あれは、地元の人やったんやろなあ」と独り言のように言う。自分の娘の名前には聞き覚えが無かったのだろう。

その前日、私は父と妹と三人で静かな城下町を歩いていた。坂が多かったので、膝が痛むという母は、いつしよには歩かなかつた。妹は父に思い出してもらいたかつたのだろう、少女のころの父との思い出を饒舌なほど語っていた。それに対して父は、人ごとのように聞いていたが、父にとつてそれは知らない人のおしゃべりだったと考えれば、その様子は納得できるものであった。

もはや同居する母が誰かわからないこともある父に、遠くに住んでいる娘がわかるはずがない。思い出話を理解できるほどの語彙

(こい)も残っていないだろう。父の前には、明るい笑顔で絶えず語りかけてくる見知らぬ中年の女性がいただけだったのである。

帰省するたび、私は父には見知らぬ人として現れる。父との関係は、いつも始めからやり直しなのである。「初対面」の場面には、必ず母にいてもらう。母の私に対する様子を見て、父は私が母にとつて身近な人物であり、したがって自分自身にも近い存在なのだと思えるはずだと思っている。

言葉は理解しにくくなっているので、いつしよにどこかに出かけるのが一番なのではと思っている。もともと遠出が好きな父であった。しかし、もう電車に乗ることができない。切符を買うこともできないし、まして行き先を聞いて、どちらのホームに行くかを判断することなど、とてもできそうにない。どこにトイレがあるかを探すのも容易ではないだろう。私がそばにいれば、それは難なくできるのである。

定期的に診てもらっている医師から「いつしよに来られたのは、どなたですか」と聞かれて、父は「家内と・・・」と答える。今日

は母のことはわかってるらしい。私は、ちらりと、少し安堵（あんど）しているはずの母の横顔を見た。

「じゃあ、こちらのかたは、どなたですか」と聞かれて、父は、「ええと、そう言われても難しいですなあ、弟でもないし」と笑っている。しかし、私が何ともいえない顔をして視線を下げているのに気がついたのか、父は急に表情を変えて怒りだし「先生、こんなことなら僕は帰りますよ！」と立ち上がった。「ああ、すみません」と医師は謝り、父をなだめた。父が診察中に怒って立ち上がるということは、これが初めてであった。

父は私のことが誰かわからないにしても、何か特別の人だと認めてくれたのだろう。だから私の目の前で私が誰であるか答えられなかったことを、私に対して申し訳なく思ったのではないか。そう考えれば、父が私を息子であるとかわからなかったときにも、私は嬉しく思ってたのである。

果たして、それが私の勝手な想像にすぎないのかどうか、それは父にはかわからない。父にしてももう、そんなことはすっかり忘れてしまっているはずなのである。

(知)

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で（サロン・あべの）紙第266号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- | | |
|---|--|
| <p>(a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第266号までそろっています。</p> <p>(b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」</p> <p>(c) 絵本「未知の記憶」（作・絵 中川勝彦）</p> <p>(d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分（30分）</p> <p>(e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で</p> | <p>んわ音訳DJ)</p> <p>(k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)</p> <p>(l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけつと音訳)</p> <p>(m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(o) 「もうちょっと知っとく？ 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)</p> <p>(t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)</p> <p>(u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)</p> <p>(v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ</p> |
|---|--|
- ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田 ☎06・6691・1028) まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

Mai スウェーデン 留学記 24

スウェーデンの学生バブ

スウェーデンの大学都市には必ず学生と許可された者だけが入り込めるバブがたくさんあります。おそらく都市によつてその呼び方も違うと思います。

スウェーデンのアルコール事情は、18歳以上から飲酒できます。でもとにかくアルコール類の値段は高く、消費税25%きっちり取られるので、普段スウェーデンの人が呑んでいるお酒は、スーパーでも買えるライトビールやアルコールが低いサイダーというお酒です。ワイン、アルコール度の高いお酒や普通

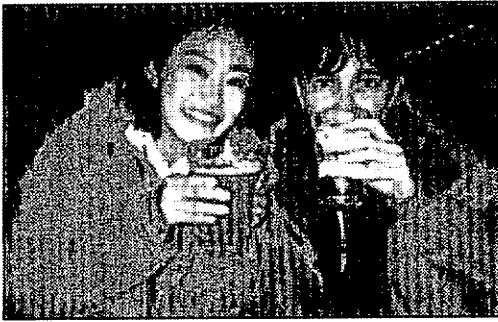
のビールになるとスーパーでは買えず、スウェーデン語でシステムボラーゲットという酒屋さんに行かないといけないわけです。スウェーデンでは、アルコール依存症の予防に力を入れていて、高校生以下がお酒を買うことはとても厳しいものがあります。特にシステムボラーゲットでは、店員が時々、IDカードの提示を求めるとか、未成年の飲酒を厳しくしているのです。時々幼く見える日本人がシステムボラーゲットでお酒を買おうとすると、未成年に間違われることもあるそうです。だから日本のようにどこでもお酒が買えるなんて、スウェーデン人もビックリですよ。消費税とアルコールの値段が高いことで、スウェーデンの学生達が呑んで騒ぐのは、金曜日か土曜日・・・週末だけです。テスト期間やレポート期間になるとお酒類は呑みません！おそらく日本人の方が1度の呑む量は少ないでしょうが、回数は多いと思います。

スウェーデンでの学生バブですが、正直、「楽しい！」の一言です。ウプサラの街には、13か14カ所ネイションと呼ばれるバブがあります。必要であればネイションを貸し切つてパーティーをすることもでき、語学コースでは18歳以上の参加者には特別にネイションを利用できるように許可証が与えられますし、ネイションを貸し切つて、ザリガニパーティーやお別れパーティーの会場にもなりました。ヴェクショーでは、大学周辺に3カ所の学生バブがあり、これも学生団体に入らないと利用できません。

私は、ウプサラにいたときに、スイス人の友達やドイツ人の友達と一緒にバブ、ネイションツアーをやり、一晩で3、4カ所まわつて、夜中まで一緒にいろんなことを話した思い出があります。私はアルコールを呑むことはできませんが、バブでの雰囲気や踊ること、友達と喋るのが楽しいので一緒に連れて行つてもらうことが多いです。お互いの国のこと、お互いの言語を教え合ったり、スイ



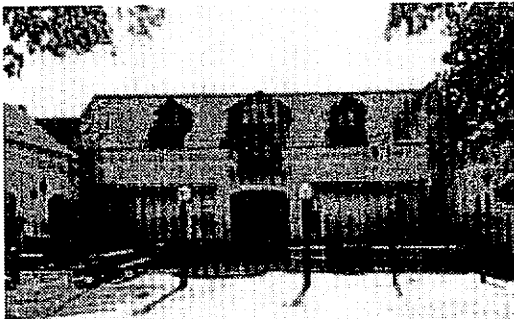
ネイションで頼んだ食事は、チキンと野菜がパンにはさんでありました。ウプサラにて。



ウプサラのネイションの1つにて。スイス人の友達と。ビッグ・ジョッキですが、撮影用に持っているだけです。



ネイション前にて。ウプサラで一番古いこのネイションは、スウェーデン語サマーコースのお別れパーティーの会場に利用されます。ディスコにもなる不思議なパブです。スイス人の友達と。



ヴェクショーの学生パブの1つ。森の中にあります。

少なかったのが印象的でした。たぶん案内がスウェーデン語でしか書いてなかったから、留学生にはわからなかったのでしょう。

スウェーデンを含む、北欧3カ国では、皆さんもよくご存知だと思えますが、たいていビュッフェ方式&セルフサービスです。レストランに入ってもメニューを見て、自分

ス人の友達には頼まれて、母から教えてもらったお寿司の作り方のレシピを英語に翻訳してあげたり、他愛のない会話でその1つ1つが貴重な思い出として心に刻まれています。1つ1つのネイションは全然違います。面白いのがウプサラではネイションの名前が「ストックホルム」「ウツブランド」「スモーランド」・・・すべてスウェーデンの地域の名前になっていたことでした。スウェーデンで一番古い歴史を持つウプサラ大学がある街。いろんな地方からこの大学に学生が集まったことがネイションの名前を見てもわかります。

です。パブ自体は2つのパブが毎日開いているわけではありません。それぞれ週に2、3日、曜日が決められています。パブに入るにはあらかじめ学生団体に入会しておくことが条件となっています。私は実はこの学生団体に入会していませんでした。ヴェクショー大学が始まったころ、たくさんさんの学生団体、それはパーティーやスポーツを一緒にするという日本のサークルのようなものがあり、勧誘しにきます。でもどの団体に入るかよりも自分の生活をスムーズにスタートさせることばかり集中していて、結局入る時期を失ってしまい、入会しそびれてしまいました。みんな

なパブに行くことが目的だけでしたから、お酒を飲まない私は別にいいかなと思いい、そのまま入会せずに過ごしていたのです。

でもパブは単に呑む場所だけではありません。ヴェクショー大学のパブでは、土曜日の午前中、「ブランチタイム」というのが開催されており、その名の通り、パブで朝食兼用として用意されるのです。これは団体に入会しているかということは関係なく、単に50クローナ（当時は750円くらい）で食事が食べることができました。1度だけ友達と一緒にこのブランチを食べに行きました。朝の10時からで、行ってみると行列。スウェーデン人の学生が多く、留学生は

の好きなものを注文し、受け取ってから席に着く、そして片付けも自分でするというスタイルが一般的です。いつだったか、ギリシヤ人の友達とレストランに入ったとき、このスタイルに文句を言っていたんですが・・・ギリシヤでは日本と同じようにウェイターが注文を聞きにきてくれるということで、「日本と同じスタイル！」という話で盛り上がったことがあります。

もちろんこのときのプランチもピュッフエスタイル。普通にパンや、チーズ、ソーセージに卵、ヨーグルト、シリアルに飲み物はコーヒー、紅茶、ジュースなどが置かれていて、好きなものを好きなだけお皿に盛りつけなければいけない話です。私はお昼ご飯の代わりにいただきました。

たぶん日本の人ならこのピュッフエ方式を見ると、たくさん食べなきゃ損だと思つて胃が痛くなるくらい食べると思います・・・本当の意味を理解するならば、ピュッフエは、ひとりひとりが自分の食べられる量・食べたいものを決められる、個人に合わせた自

お知らせ

<サロン・あべの> 10月の出会い

内 容…動物の親子の愛ときずな
 —動物園の飼育から—

日 時…10月18日(土) 午後1時～4時

場 所…育徳コミュニティーセンター2階
 研修室(スロープ・車いすトイレ有)
 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
 TEL 06-6621-1901
 最寄り駅=
 地下鉄御堂筋線「西田辺」(エレベーター有) 下車すぐ

会 費…なし

<サロン・あべの>10月の出会いは、「市民フォーラムおおさか08」の協働事業として参加しています。

問い合わせ先…
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)

己決定の1つの方法ではないでしょうか。このころ私もスウェーデン滞在が長くなつており、冬の間蓄えた脂肪でコロコロ太つてきましたから、自然と自分の食べたい量というものもわかつてきており、暴食はしなくなっていました。日本人の損得勘定は捨てるのが賢明です。

楽しくお喋りしながらみんなが集まり、週末はブランチで過ごす・・・ちよっぴし贅沢なパブの利用の仕方でも私も友達も大満足でした。日本では「お酒を飲む場所」というイメー

ジしかないかもしれませんが。でも学生のためのパブには、いろいろな利用方法があるので。それは学生が集い、出会い、ともに過ごし、話す場所。学生団体のミーティングの場所になる場合もあります。娯楽がとにかく少ないので、学生が触れ合い、話しができる場所というのはとても大切なのです。普段はシヤイなスウェーデン人もお酒を吞ますと人が変わったよう陽気になる・・・そのすさまじい変化を観察できる場所でもあるかもしれません。

(清原 舞)



愛を紡いで
ジャン・フェラをうたう



日 時= 11月3日(月・祭日)
開場 14時30分
開演 15時00分
会場= 大阪市中央公会堂
入場料= 前売 ¥5000
当日 ¥5500
(全席指定)
演奏= 西川 真トリオ
+弦楽アンサンブル
主催= 奥田真祐美音楽事務所
後援= 産経新聞社

チケット取扱・ご予約・お問い合わせ=
奥田真祐美音楽事務所
TEL・FAX 06-6692-8774

重度障害者には、どんな生活があるので
しょうか。

わたしの生活みつけた!



岸田美智子

私たちあいえる協会では、そんな疑問に答
えようと、重度障害者の地域移行DVD「わ
たしの生活みつけた!」(上映時間約20分)
を制作しました。

重度障害者が地域で自立生活をおくると
き、どんな課題があるのでしょうか。住宅の
問題、介助保障、お金の管理、料理、健康管
理、など課題はまだたくさんあります
が、このDVDのメンバーはこのような課題
を乗り越えて、地域で自分らしい生活を実現
しました。DVDをみて障害者が主人公と
なった地域での自立生活を具体的にイメー

してみませんか。

□内容

- ・住むところは?
 - ・お金の管理はどうしているの?
 - ・言語障害があっても伝わる?
 - ・健康に暮らすには? (医療と食生活)
- 販売価格: 2000円(送料500円)
問い合わせ先
社会福祉法人 あいえる協会

大阪市西成区天神ノ森2-9-18
TEL 06-6656-1785
FAX 06-6656-1786



10月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」10月の出会い

日 時：10月19日（日）午後1時30分～4時
内 容：歴史散歩・わが町を歩いてみませんか！
三国・十八条周辺を参加者の体力を見ながら歩きます。
ゲ ス ト：稲垣泰平氏（「歴史散歩」の達人であり著書「歴史の記録」を発行）
会 費：なし
場 所：淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3
問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビューロー） ☎ 06-6394-2900
E-mail：sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」10月の出会い

日 時：10月26日（日）10時～15時（予定）
内 容：仲良し祭り 出店
「たご焼き」と「ミルクせんべい」を予定。昨年は6名のスタッフとボランティアの方々が頑張りました。今年はまだ少し多くの皆さんの手をお借りしたいと思えます。どうぞ、ご協力をお願いします。
会 費：なし
場 所：西淀川区在、子ども・子育てプラザ
問い合わせ先：中本 ☎ 090-9864-9678

■「サロン「アイ」10月の出会い

日 時：10月11日（土）午後1時30分～4時
内 容：精神障害者を理解するには
出 演 者：石垣千春氏
（生野区役所地域保健福祉担当係長）

会 費：なし
場 所：生野区在宅サービスセンター
「おかちやま」2階ボランティアルーム
大阪市生野区勝山北3-13-20
問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビューロー） ☎ 06-6712-3101
○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが出来ます。ご希望の方は、西浦まで。
☎ 06-6757-8574

■「サロン・にし」10月の出会い

日 時：10月11日（土）午後2時～4時
内 容：心の病気について学ぼう！
ゲ ス ト：調整中
場 所：大阪市立本田小学校生涯学習ルーム
会 費：なし
問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

■《てくてく・すみよし》10月の出会い

日 時：10月18日（土）午前10時45分
近鉄阿倍野西改札集合
内 容：ポニーの里で乗馬体験
場 所：ふれあい乗馬センター「ポニーの里」
奈良県高市郡高取町
近鉄吉野線「市尾」駅下車徒歩2～30分
会 費：1500円（昼食付）交通費は別途個人負担
申し込み締切：10月13日
申し込み・問い合わせ先：
山本篤江 ☎ 06-6692-8411
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」10月の出会い

日 時：10月5日（日）午後1時30分～4時
内 容：未定
場 所：鶴見区民センター3階
会 費：なし
問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビューロー）
奥井 ☎ 06-6913-7070

■「サロンいたみ」10月の出会いはお休みです

寄りみち



■童謡♪絵はがき・ローレライ。ライン川下りでも有名なドイツの観光名所。ローレライというのは、岩山を表すと同時に、この岩の妖精、あるいはセイレーンの1種で、ドイツの伝説に由来します。ハインリッヒ・ハイネのIch weiss nicht was soll es bedeuten（何がそうさせるのかはわからないが）で始まる詩が1番有名ですが、伝わっている物語にはいくつかの妖精の伝説が残されています。内容には多少の違いがあるようですが、不実な恋人に絶望してライン川に身を投げた乙女ローレライが、水の精となり、彼女の魅惑の美声は漁師を誘惑し、岩山を通りかかった舟をつぎつぎと遭難させていったというのです。（石）

<サロン・あべの>VOL. 267 発行：平成20（2008）年9月20日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/「サロン あべの」でも検索できます